

28年10月分 製品市場の荷動き・価格先行き動向調査

1. 調査実施期間 平成28年 10月1日～ 28年10月10日

2. 調査実施方法

全国の製品市場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
10月分の回答企業数は7社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={(「増加」の評価を行った回答の割合)×2+(「やや増加」の評価を行った回答の割合)-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)}÷2
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向 Weight. D. I.

品目		28/10月	11月	12月
入荷動向	国産材製材品	△ 25.0	0.0	△ 8.3
	外材製材品	△ 8.3	△ 8.3	0.0
	その他	△ 10.0	△ 10.0	△ 10.0
販売動向	国産材製材品	16.7	0.0	△ 8.3
	外材製材品	0.0	△ 14.3	△ 14.3
	その他	0.0	△ 10.0	0.0
在庫動向	国産材製材品	△ 28.6	△ 7.1	△ 7.1
	外材製材品	0.0	7.1	7.1
	その他	0.0	10.0	10.0

・製品市場への製材品の入荷は一部横ばいがあるものの、総じて減少傾向。

・製材品の販売は、総じて10月の増加ないし横ばいが、11月、12月は減少ないし横ばい。

・製材品の在庫は、国産材は3ヵ月連続して減少。外材及びその他製材品は10月の横ばいが、11月、12月はやや増加。

(2) 価格動向 Weight. D. I.

品目		28/10月	11月	12月
スギ	柱角 KD10.5×3	0.0	0.0	0.0
	柱角 KD12×3	0.0	0.0	0.0
	通し柱 12×6	0.0	0.0	0.0
	桁角	0.0	0.0	0.0
	母屋角	8.3	0.0	0.0
	タルキ	0.0	0.0	0.0
	間柱	0.0	0.0	△ 10.0
	加工板	0.0	0.0	0.0
	ヌキ	8.3	0.0	0.0
	平割	0.0	0.0	0.0
ヒノキ	柱角 KD10.5×3	0.0	8.3	0.0
	柱角 KD12×3	0.0	0.0	0.0
	土台角 10.5×4	0.0	8.3	0.0
	土台角 12×4	8.3	0.0	0.0
	通し柱 12×6	0.0	0.0	0.0
カラマツ土台角10.5×4	0.0	0.0	0.0	
米マツ平角	0.0	0.0	△ 8.3	
米マツ割物	0.0	0.0	△ 8.3	
北洋エゾマツタルキ	0.0	0.0	△ 16.7	
北洋アカマツタルキ	0.0	0.0	△ 10.0	

・スギ製材品の価格は一部やや強含みもあるが、総じて保合。

・ヒノキ製材品の価格は一部やや強含みもあるが、総じて保合。

・カラマツ土台角は3ヵ月連続して横ばい。米マツ平角、米マツ割物、北洋エゾマツタルキ及び北洋アカマツタルキは10月、11月の横ばいが、12月はやや弱含み。

モニターからのコメント

(荷動き)

- ・国産材・外材の入荷順調。国産材・外材共記念市があり、やや売上げ増。在庫はやや減少(関東)。
- ・入荷が減っている、物量自体が動いていない。販売は良くない、動きが小さい。9月入荷分が在庫として倉庫に眠っている(中部)。
- ・国産材は原木不足で入荷が減少。ヒノキの销售量減少が大きい(前年同月比-32%)。前月、外材が国産材を上回ったが、外材の销售量が減りすぎが増えたため、割合は元に戻った(国内材53.1%、外材46.9%) (関西)。

(価格動向)

- ・記念市単価 スギ柱角 (KD10.5cm) 55,000円/m³、(KD12.0cm) 58,000円/m³、スギ桁角 (東北材) 40,000円/m³、母屋角 (東北材記念市単価) バタ (二等) 25,000円/m³、スギタルキ (東北材) 45,000円/m³、スギ間柱 (KD) 58,000円/m³、スギ加工板 (グリーン材) 束2,600円、(KD) 束4,800円、スギヌキ (東北) 記念市単価 36,000円/束、秋田材46,000円/束 スギ平割 (プレーナー記念市単価) 450000円/m³、同 (ラフ) 38,000/m³、ヒノキ柱角 (KD)・土台角10.5cm、12.5cm 80,000円/m³、米マツ平角 KD 65,000円/m³、米マツ割物AD記念市単価 60,000円/m³、北洋アカマツタルキ (アSEMBL単価) (S) 68,000円/m³、(P) 56,000円/m³、(バンドル単価) (S) 65,000円/m³、(P) 55,000円/m³(関東)。
- ・スギの製材品価格は据え置き。ヒノキ構造材の荷動きが悪い。米マツは入荷が制限されそうで、上昇圧力はあるが、現状維持。北洋エゾマツタルキ、アカマツタルキは入荷も需要も少ない(中部)。
- ・スギ、ヒノキとも変わりなし(中部)。
- ・スギ原木の高騰で一部製品が値上がり(九州)。